

全国一般神奈川

発行者
 全国一般労働組合全国協議会神奈川
 横浜市中区翁町 1-5-14
 新見翁ビル4F
 TEL. FAX.
 045-319-4391

第27回定期大会開催！

結成以来四半世紀の地平を確認し、次の10年を見据えた運動へ



2024 09 22

9月22日、私たち全国一般神奈川は、かながわ労働プ
ラザで第27回定期大会を開
催しました。会場には全体で
約50人が集結、来賓として
全国協の大野委員長、東京南
部の池内さん、東京労組の井
上さん、原さん、三多摩労組
の松浦さん、県共闘 がくろ
うの小内さん、春日労の近藤
さん、弁護士嶋崎さん、穂
積さんに臨席頂きました。
大会議長に郵便小田原東の
瀧山さん、書記にアセックの
堀さんを選出し、冒頭の委員
長挨拶では「結成以来四半世
紀、地域、全国の仲間の支え
と組合員の協力のもと、地域
合同労組として、多くの権利
侵害と闘い、裁判、労働委員
会を取り組んできたが、格差・
分断が進む社会情勢の中、こ
れからの10年を見据えた全
国一般神奈川の運動、組織運
営の取り組みに繋いでいきたく
い」と挨拶。続いて、丈夫屋
テクノウエーブ、ビステオン
の権利侵害・解雇との闘いを
はじめ、非正規労働者、労働
相談、24春闘の取組みなど、
この一年の活動の総括を全体
で確認しました。そして、権
利侵害と闘い全ての争議に勝
利すること、生活破壊を許さ
ず25春闘を闘うことを柱と
した今年度の運動方針を決
定、合わせてストライキ権を
確立しました。
議事終了後には、来賓の皆
さんからの熱い連帯の挨拶を頂
き、合わせて7組合から頂い
た連帯メッセージを会場で確
認しました。
大会終了後、今回は会場を
近くの中華「味臨軒」に移し
て懇親会を実施。参加組合員
来賓からの一言挨拶を受けな
がら、組合員間・参加者間の
交流をはかりました。
世界の戦争と対立の深ま
り、地球温暖化、そしてこれ
まで自公政権が進めてきた異
次元の金融緩和政策による円
安、その中での諸物価の高騰
と実質賃金の低下が続いてい
ます。まさに「貧困と戦争へ
の道」に直面している今、私
たちの雇用と生活を守ってい
くために、全ての組合員が知
恵を出し合い、模索しながら
次の10年を見据えた運動を
この神奈川でともににつくっ
ていきましょう。(書記局)

スケジュール

- 0月9日 15時 事務所
モ古 商社会議
- 0月9日 17時30分 新杉田駅
県共闘最賃情宣行動
- 0月9日 19時30分 事務所
鯉住宅会議
- 0月10日 19時 事務所
県共闘幹事会
- 0月13日 10時 事務所
機関紙発送作業
- 0月13日 15時 会社
神奈川ステルス工業団体交渉
- 0月15日 10時 県労委
テクノエーブ県労委調査
- 0月20日 11時 野島公園
全国一般神奈川バトキー大会
- 0月21日 10時30分 空ブ
ビステオン解雇撤回裁判第5回弁論準備
第1回担当者会議
- 0月21日 19時
- 0月24日 19時 事務所
県共闘事務局会議
- 0月27日 14時 事務所
第1回支部代表者会議
- 0月28日 19時 事務所
神奈川労働相談センター会議
- 0月29日 16時30分 本社
ビステオン情宣行動
- 0月29日 17時30分 事務所
アセック会議
ビステオン会議
- 0月30日 17時30分 横浜西口
JAL横浜西口情宣行動
- 1月1日 13時 日比谷野音
狭山事件の再審を求める市民集会
- 1月1日 18時30分 旭区役所
鯉住宅団体交渉

全国協第34回定期大会 ～平賀委員長の急逝を乗り越えて～



9月14日・15日、全国協第34回定期大会は、港区の生涯学習センターばるーん会場で全国から30名超が参加し、さらにオンラインも併用して開催されました。神奈川は、大会役員として清水中執、河野会計が両日参加し、八木副委員長、沢口委員長が代議員として参加しました。

今大会は7月11日に急逝された平賀中央執行委員長への黙とうから始まり、長らく全国協を支えてくださった存在は大きく、この場にいらっしやらないことに強い喪失感がありました。平賀委員長の24春闘総括

「格差・分断の固定化を許さず粘り強く闘いを続けよう」を大会論議の導きの糸として議事が進められました。

全国協は最賃闘争を最もよく闘っている労組であり、同一労働・同一賃金・均等待遇をめざしキーステム裁判闘争などにも力を入れていきます。労働基準関係法制研究会の傍聴闘争に取り組み労基法の改悪を許さない闘いも報告されました。2日間で14労組、17名から議案について意見が述べられ、各地の闘いの報告があり、京都事件、山紀会、ゼネラルユニオンから署名の要請がありました。組織として世代交代の進め方、女性の参加しやすい環境整備についても発言がありました。議案はすべて承認され、役員選挙では立候補者全員が信任を受け、大野隆前副委員長が新委員長に就任し次期は新体制でスタートすることになりました。

(中央執行委員・清水)

全労協第36回定期全国大会開催

9月29・30日、全労協道会館において、全労協第36回定期全国大会が開催されました。

大会冒頭に1月に逝去した前任幹事で神奈川県共闘議長長の川端氏を追悼し黙祷が行われました。大会は、渡邊議長からの「今大会を全労協結成から35年の積重ねた運動を踏まえ拡大・前進にむけた大会にしていこう」との挨拶があり、つづいて大橋参議院議員、鳥井中小労組政策ネットワーク事務局長、大川移住者と連帯する全国ネットワーク共同代表・他からの来賓挨拶がありました。大会

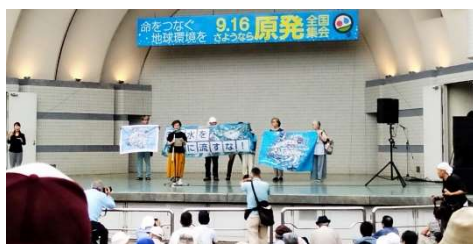
1日目では23年度の経過報告総括、24年度活動方針が関口事務局長から提案されました。その後、2日目にかけて各代議員からの質疑・報告が行われ、議案についてはすべて採択されました。議事終了後に新規役員の紹介と挨拶が行われ、神奈川共闘小内事務局長からは「全労協運動の発展に向け皆さんと共に全力で闘っていきます」との決意が語られました。そして最後に渡邊議長による「団結カンパニー」で大会を終えました。

(河野)



命をつなぐ地球環境を守ろう！

さようなら原発代々木集會に参加



「汚染水を海に流すな」と訴える仲間

9月16日、脱原発や気候危機の問題に関心を寄せる仲間約5000人が、東京・代々木公園に集まり、さようなら原発集會が開催されました。組

合は県共闘の仲間約10名と共に参加してきました。当日は雷雨の予報で雨具を用意しましたが好天に恵まれ集會とデモは予定通り取り组まれました。また会場には、脱原発や気候問題などをテーマにした模擬店や署名をお願いする仲間の活動、各地の産直物産、キッチンカーなども出店するなどで賑わいを見せていました。

ステージでは、各地の原発再稼働反対の活動や核のゴミ問題の報告、また、地元漁民らとの約束を反故にして、放射能汚染水を海洋放出し続けていると地元からの報告や闘いへの支援が訴えられました。集會のテーマでもある地球温暖化の解決策を原発に求めようとする動きに対して警鐘を鳴らす若者の発言に集會参加者は熱心に耳を傾けていました。

集會は鎌田聡さんの閉会の挨拶後に、渋谷コースと原宿コースの二手に分かれデモ行進に出発しました。祝日で賑わう渋谷と原宿で、「さようなら原発、人類は原発と共存はできない、原発は気候危機の解決にならない」と訴えました。

(佐藤)



バーベキューしようよ！

10.20(日) AM11時～

野島公園バーベキュー場No.9・10

- 横浜市金沢区野島町 24
- 金沢シーサイドライン「野島公園」駅徒歩 15分
- ※午前 10 時 30 分に野島公園駅に集合
- ※途中からの現地直接参加も可能です



参加費・・・なんと無料！

主催 **全国一般神奈川**

連絡先 米山 090-3060-7393
滝山 080-1199-0233